

たのしい絵本

～4、5歳から楽しめる絵本～

三島市立図書館

〒411-0035 三島市大宮町 1-8-38
Tel 055-983-0880

三島市立図書館 中郷分館

〒411-0816 三島市梅名 353-1
Tel 055-982-5102

<https://tosyokan.city.mishima.shizuoka.jp/>

もくじ

- 図書館おはなし会のご案内…………… 1P
- 子どもと一緒に絵本を楽しむために…………… 2P
- 初級編…………… 3～ 4P
- 中級編…………… 5～ 8P
- 上級編…………… 9～12P
- 読み聞かせのポイント…………… 13～14P
- 絵本選びの基本 …………… 13P
- 集団へ読み聞かせする時の絵本選びのコツ…………… 13P
- 集団への読み聞かせの準備と実践 …………… 14P

◆◆◆◆ おはなし会のご案内 ◆◆◆◆

図書館では、幼児・小学生を対象におはなし会を開いています。
ぜひお出かけください。

〈三島市立図書館〉

* 2・3歳

毎週水曜日 午前10時30分～午前10時50分

* 4歳以上

第3日曜日 午前10時30分～午前11時

〈三島市立図書館 中郷分館〉

* 0～2歳程度

毎月第3火曜日 午前10時30分～午前10時50分

* 3～5歳程度

毎週水曜日 午後4時～午後4時30分

※詳しくは、広報みしま図書館ホームページをご覧ください。

2019年8月発行

表紙イラスト：池田 優

子どもと一緒に絵本を楽しむために

- 絵本や本を子どもに読んであげる時には、ゆったりした気持ちで心をこめて読んであげましょう。
- たとえ子どもが字を読めたとしても、絵本や本を読んであげましょう。字が読めることと、お話の内容を理解し、楽しむこととは別のことです。12歳くらいまでの子どもは、文字を読んで理解する能力より、耳から聞いた言葉を理解する能力のほうが、ずっと早くから発達しています。
- 「もう一回読んで」と言われたら、嫌がらずに読んであげましょう。そういう本は、子どもにとって心に響いた本です。繰り返し読んでいるうちにいつそう理解が深まり、多くの事を吸収することができるのです。
- 子どものころ出会った絵本の楽しさは、読んでくれた人の暖かさと絵本に出会った喜びと一緒に、心の中に残っています。お子さんと一緒に、楽しい本に出会ってください。
- 集団への読み聞かせは、絵本の選び方や読み方等気をつける点があります。13ページ「集団への読み聞かせのポイント」を参考にしてください。



おっぱい

みやにし たつや作 鈴木出版 (E-ミヤ) 2分

ぞうさんだってねずみさんだって…。ぼくもおっぱいを飲んで、大きく、優しく、強く、元気な子になった。大好きなおかあさんのおっぱい。だけど、いまは弟にかしてあげる。心があたたまる絵本です。兄弟が生まれる時に読んであげるとよいでしょう。



きゅうりさんあぶないよ

スズキ コージ作 福音館書店 (E-ス) 3分

きゅうりさんが歩いて行くと、くま、トナカイ、はりねずみなど色々な動物と出会い、「そっちへ行ったらあぶないよ」と声をかけられます。知ってか知らずかどんどん進むうちに相手の持っていた物ひとつずつ身に付けていきます。同じ言葉かけによる絵を楽しむ絵本です。



サンドイッチサンドイッチ

小西 英子作 福音館書店 (AE-コニ) 2分

「サンドイッチ、サンドイッチ、さあつくろう！」パンにバターをたっぷりぬって、レタスに真っ赤なトマト、チーズをのせて…。おいしそうな食べ物がリズムカルに次々と登場します。食べ物好きな子どもには次のページが待ち遠しくてならない楽しい絵本です。



ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナ作 福音館書店 (AE-フル) 4分

赤・黄・青・緑・茶・灰色の6色を使い、シンプルで記号化され、正面を向いた絵は、いつも子どもを見えています。そして文章は話しかけるようリズムカルになっています。絵と文が一体となり子どもに語りかけます。「うさこちゃん」シリーズで他にも色々な絵本があります。



てじな

土屋 富士夫作 福音館書店 (E-ツチ) 2分

ご覧のモノに魔法の言葉をかけますよ。「あんどら いんどら うんどら！」すると、2本の輪が9本の輪が増えて、筒を通すとアヒルがウサギに…。リズムカルな呪文で楽しく画面が展開していきます。次のページが見える切り込みの入ったしかけ絵本。



ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを文 上野 紀子絵 ポプラ社 (E-ウエ) 4分

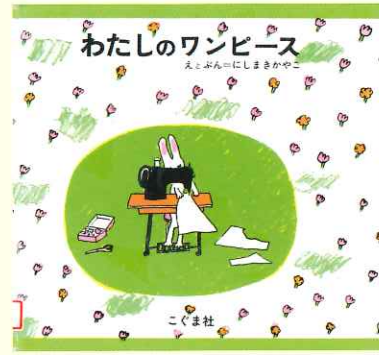
ねずみくんにぴったりの赤いチョコッキ。いいチョコッキなので友達動物たちが次々着てみます。「にあうかな？」という問いかけに、子どもたちが「にあう！」「にあわない！」と答えてくれます。「ねずみくん」シリーズで他にも色々な絵本があります。



めしあがれ

視覚デザイン研究所作 高原 美和絵
視覚デザイン研究所 (E-タカ) 2分

いろいろな色のキャンディー、めしあがれ。ショートケーキにホットケーキ、シュークリーム、おいしそうなお菓子が本物のよう



わたしのワンピース

にしまき かや作 こぐま社 (E-ニシ) 3分

真っ白なきれが空から落ちてきて、うさぎさんがワンピースをつくり、それを着てお散歩します。背景が変わると、ワンピースの模様も変わっていきます。ララン、ロロンというはずむような言葉が印象的です。



あさえとちいさいもうと

筒井 頼子文 林 明子絵 福音館書店 (E-ハヤ) 7分

あさえは妹と家の前で遊びながらお留守番。遊びに夢中になってしまい、ふと気づくと妹の姿がありません。あさえはあわてて探しにかけ出します。ハラハラする展開に聞き手もひきこまれていき、最後にあさえが妹を抱きしめる様子は心温まります。



いたずらこねこ

バーナディン・クック文 レミイ・シャーリップ絵
まさき りこ訳 福音館書店 (E-シヤ) 9分

小さな庭の小さな池に住んでいる小さなかめと、その隣に住んでいる小さないたずらこねこのお話です。こねこが初めてかめに会った驚き、好奇心、そしてかめのゆうゆうと動く様子が、シンプルな同じ構成の中に描かれ、おかしさと緊張感が伝わってくる絵本です。



うんこ!

サトシン文 西村 敏雄絵 文溪堂 (E-ニシ) 7分

「みちのすみっこでわんこがうんこ。」近寄ってくる動物たちはうんこの臭いをかぐと「くっさーい！」と逃げていきます。くやしくなったうんこは仲間を探す度に出ます…。題名を読むだけで子供たちは大笑い。ダジャレも使ったユーモラスな絵本です。



うんちしたのはだれよ!

ヴェルナー・ホルツヴァルト文 ヴォルフ・エールブルッフ絵
関口 裕昭訳 偕成社 (E-エア) 8分

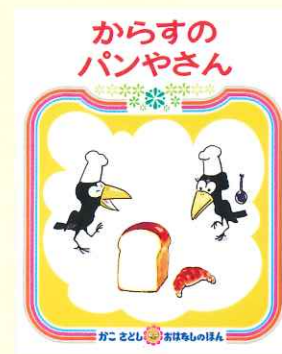
もぐらくんが地面から顔を出して、お日様は昇ったかなと思ったときその事件は起こったのです。「だれだ、ほくのあたまにうんちなんかしたやつは!」もぐらくん、早速犯人探しにでかけます。そして、とうとう犯人を見つけます。



おやつがほーいどっさりほい

梅田 俊作 梅田 佳子作
新日本出版社 (E-ウメ) 7分

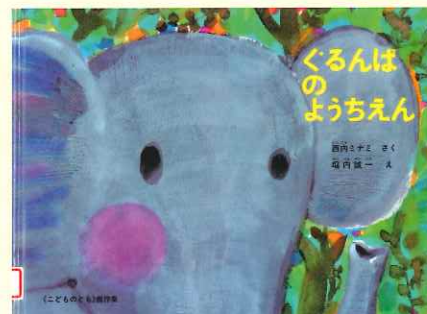
おいしそうなお菓子の名前がでてくるたびに子どもたちののが“ゴクッ!”となります。さて、ピクニックへ出かけたみえちゃんとはらぺこぎつねのおやつは何だったのでしょうか…。子どもたちが大好きなおやつのお話です。



からすのパンやさん

かこさとし作 偕成社 (E-カコ) 10分

からすのパンやさんに4羽の赤ちゃんが生まれ、パパとママは子育てに大忙し。その後、4羽は店をお手伝いし、かえるパン、ぼうしパンなど変わった形の楽しいパンを売り出してお店は大繁盛。食べたいパンはどれかな? 4羽が大人になった続編も大人気の絵本です。



ぐるんぱのようちえん

西内 ミナミ文 堀内 誠一絵 福音館書店 (E-ホリ) 8分

象のぐるんぱは、ひとりぼっちでいつもめそめそしてばかり。大きくなり働きに行くことになりました。でも、何をやっても失敗ばかり。ぴったりの仕事はあるのでしょうか? ハッピーエンドで終わるこの絵本は、子どもたちをおはなしの世界に誘うのにぴったりです。



11びきのねこ

馬場のぼる作 こぐま社 (E-ハハ) 9分

おなかをへらしている11びきのねこたちは、大きな魚をとろうとしますが、手におえず悪戦苦闘します。ねこたちの動きや表情がいきいきし、子どもたちは物語と絵の画面を楽しむことができます。「11びきのねこ」シリーズで他にも色々な絵本があります。



14ひきのおつきみ

いむら かずお 童心社 (E-イワ) 5分

両親、おじいちゃん、おばあちゃんと10匹の子どもたち、14匹のねずみの家族は、木の高いところに登っていきます。夜がだんだん広がってくると、山の向こうからお月さんが昇ってきて…。「14ひき」シリーズで他にも色々な絵本があります。



そらまめくんのベッド

なかや みわ 福音館書店 (E-ナカ) 4分

そらまめくんのベッドはお豆さんたちのあこがれのふわふわベッド。誰にも貸さなかった大切なベッドがない!? 何日も探して、やっと見つけたそのベッドには…? **ほのぼのと温かい気持ちになる**絵本です。「そらまめくん」シリーズで他にも色々な絵本があります。



できるかな?

エリック・カル作 くらう なおこ訳 偕成社 (E-カル) 4分

ペンギン、きりん、バッファローのまねが「できるかな?」あたまからつまさきまで体を動かして、愉快的仲間たちと遊びましょう。きっと、「できる」よ。『はらぺこあおむし』でもおなじみのエリック・カルの絵本です。



どろんこハリー

ジョン・ジョン文 マーガレット・ブロイ・グレアム絵 わたなべ しげお訳 福音館書店 (E-クレ) 5分

お風呂を嫌がりこっそり家を抜け出した黒ぶちの白い犬ハリーは、どろんこになって遊び、真っ黒になってしまいました。ハリーがやさしい家族のもとに帰ってきてても家族たちはハリーだと気づきません…。「ハリー」シリーズで他にも絵本があります。



ねえ、どれがいい?

ジョン・バーニング作 まつかわ まゆみ訳 評論社 (E-ハニ) 7分

もしもだよ、きみんちのまわりがかわるとしたら大水と、大雪と、ジャングルと、ねえ、どれがいい?…こんなふうに次々と奇想天外な選択を迫ります。聞いている子どもたちは、ほくはこれ、私はこれ、と大喜びです。色彩も美しい絵本です。



ふしぎなナイフ

中村 牧江作 林 健造作 福田 隆義絵 福音館書店 (E-フク) 3分

光沢あざやかな1本のナイフ。この美しいナイフに不思議なことが起こります。ひとりでに曲がったり、ねじれたり、折れたりします。そして、どんどんふくらんでいて…。1つの物が様々なに変化する、不思議な絵本です。



ぼくはあるいたまっすぐまっすぐ

マーガレット・ワイズ・ブラウン作 坪井 郁美文 林 明子絵 ペンギン社 (E-ハヤ) 8分

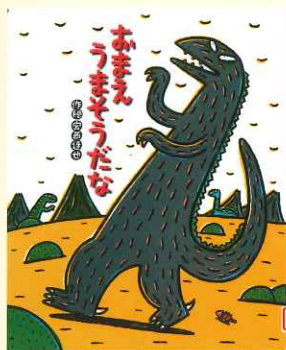
おばあちゃんからの電話で、ぼくはひとりでのおばあちゃんのおうちへ向かいました。教えてもらったとおり、まっすぐまっすぐ進みます。田舎の道で出会ったのは? 無事おばあちゃんにあえるかな? **初めての冒険**を描いた絵本です。



わゴムはどのくらいびるかしら?

マイク・サーラー文 ジェリー・ジョイナー絵 きしだ えりこ訳 ほるぷ出版 (E-シヨ) 4分

ぼうやが輪ゴムがどのくらい伸びるかためてみることにしました。輪ゴムの端をベッドの枠にひっかけてどんどん外に出ていきます。バスに乗り、飛行機に乗り、船に乗り、よその国へ。いったいどこまで伸びるのか? 輪ゴムは切れないのか? **ハラハラ、ドキドキ**の絵本です。



おまえうまそうだな

宮西 達也作 ポプラ社 (E-ミヤ) 7分

生まれたばかりの恐竜の赤ちゃんが、ひとりぼっちでさみしくて泣いていると、「おまえうまそうだな」と声がして、大きな恐竜がやってきます。赤ちゃんはその恐竜をお父さんと間違えて…。大きな恐竜と赤ちゃんの愛情物語。「ティラノサウルス」シリーズで他にも色々な本があります。

かいじゅうたちのいるところ



モーリス・センダックさく じんぐうてるおやく

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック作 じんぐうてるお訳 富山房 (E-セン) 8分

マックスはおおかみのぬいぐるみを着て大あばれます。そして、怒ったお母さんに夕ごはんぬきで寝室に放り込まれます。すると寝室に木が生えてきて森となり、波で運ばれた船に乗ってマックスは冒険に出ます。子どもの想像の世界が広がる独創的な絵本です。



かにむかし

木下 順二文 清水 薫絵 岩波書店 (ME-シミ) 19分

カニが柿の種を植え、木に育て、やっとできた実を食べようとすると、サルがやってきました…。昔話の定番のさるかに合戦の絵本です。クリ、ハチ、石うすなどの仲間が大活躍します。伸びやかな挿絵が入っています。大型版は集団への読み聞かせに向いています。



くんちゃんのはじめてのがっこう

ドロシー・マリノ作 まさき りこ訳 ペンギン社 (E-マリ) 14分

こぐまのくんちゃんは今日から1年生。初めて学校に行くのでうれしくてたまりません。でも学校に着くとだんだん不安になっていきます。最後は温かな気持ちで、心からほっとするおはなしです。「くんちゃん」シリーズで他にも色々な本があります。



じごくのそうべえ

田島 征彦作 童心社 (ME-タシ) 14分

綱渡りの途中、うっかり落ちて死んでしまった軽わざ師のそうべえ。えんま様に地獄に落とされてしまいますが、地獄の鬼たちも何のその。一緒に地獄に落ちた医者、歯抜き師、山伏の4人で力を合わせて大暴れします。関西弁で書かれた文がユーモラスな絵本です。



だいくとおにろく

松居 直再話 赤羽 末吉作 福音館書店 (ME-アカ) 6分

村人達に難しい橋掛けを頼まれた大工は、鬼と目玉とひきかえに橋をかけてもらう約束をうっかりしてしまいます。りっぱに橋は掛かり、約束通り鬼は大工の目玉をとりに来ます。困った大工は…。心のふるさともいえる昔話は沢山子どもたちに読んであげたいものです。



だいふくもち

田島 征三作 福音館書店 (E-タシ) 6分

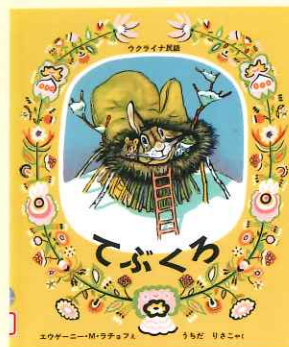
ある夜、怠け者のごさくを床下から呼ぶ声がかかります。声の主の大福餅は小豆を食べると、次々に小さな餅を生みます。ごさくはこれで商売を始めますが…。ごさくと大福餅の方言でのやりとりが楽しめる不思議なお話です。大人も考えさせられる内容の絵本です。



だんごどっこいしょ

大川 悦生文 長谷川 知子絵 ポプラ社 (ME-ハセ) 18分

小さな男の子ぐつは、頼まれ事をしますが、どれもうまくできません。そんなぐつが、おばさんの家で食べた団子があまりにおいしかったので、覚えて帰ろうとしたところ、途中で「どっこいしょ」に変わってしまいます。思わず「違よ！」の声が出る絵本です。



てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ作 うちだりさこ訳
福音館書店 (ME-ラチ) 9分

おじいさんが森の中に手袋を片方落としていきました。そこに、ねずみがやってきて住むことにしました。次々と動物がやってきて手袋に入っていきます。ページを追うごとに手袋が変化していきます。ウクライナのお話です。



ねぼすけスーザのおかいもの

広野 多珂子作 福音館書店 (E-ヒロ) 13分

いつもねぼすけのスーザですが、今日は早起きをして町に出かけていきます。“すてきなもの”を買うために探して見つけたのは…。異国の風景とともにお話の世界が広がります。「ねぼすけスーザ」シリーズで他にも色々な絵本があります。



ピーターのいす

エズラ=ジャック=キーツ作 木島 始訳
偕成社 (E-キツ) 6分

自分が使っていたゆりかごもベッドも新しい妹のものに…。そしてピーターは赤ちゃん用のイスを持ち、家出します…。妹の存在になじめない子の心の成長を描き、弟や妹が生まれ不安や戸惑いを覚える子が共感できる絵本。「ピーター」シリーズで他にも色々な本があります。



ふゆめがっしょうだん

富成 忠夫写真 茂木 透写真 長 新太文
福音館書店 (TYE-トミ) 2分

冬の木の芽を拡大して写した写真絵本です。よく見ると、冬芽は動物や子どもの顔に見え、子どもの想像力を育みます。「はるになればもっときれいになるんだよ」パッパッパッ写真に元気のいい言葉が重なり、リズムよく読むと楽しくなります。



ベーコンわすれちゃだめよ!

バット=ハッチンス作 わたなべしげお訳
偕成社 (E-ハチ) 5分

お母さんにお使いを頼まれた男の子。「うまたたたまごが6こと おちゃんにいただくケーキと なしをひとやまかってきてね。それからベーコンわすれちゃだめよ。」と言われます。さて、ちゃんと全部買ってくるのでしょうか? ユーモアが楽しめる絵本です。



ほね

堀内 誠一作 福音館書店 (TYE-ホリ) 2分

魚を食べて、たいてい残るもの「ほね」。どうしてほねはあるのかな? 人間の骨格の構造や働きを他の動物のものと比べながらわかりやすく解説しています。自分の体のことなので、興味を持って読むことのできる科学絵本です。



まあちゃんのながいかみ

たかどの ほうこ作 福音館書店 (E-タカ) 7分

まあちゃんは髪の短いおっぱ頭の女の子。けれども、友達は髪の長いのが自慢です。そこで、まあちゃんはこれから伸びるはずの髪がどんなにすごい髪か語ります。子どもの空想遊びを楽しく描いた1冊です。「まあちゃん」シリーズで他にも色々な絵本があります。



よかったね ネットくん

レミー・シャーリップ作 やぎたよしこ訳
偕成社 (E-シヤ) 5分

ネットくんは飛行機をかりてパーティーに出発しますが、途中で飛行機が爆発!“よかった”“でも大変!”と次々に場面が進み展開していきます。無事にパーティーに行けるかな? 文章は短く、絵本自体の構成がわかり易いので読み聞かせ初心者の方にもお勧めです。

◆◆◆ 読み聞かせのポイント ◆◆◆

◆絵本選びの基本

良い絵本を選ぶポイントを紹介します。

- 長い年月をかけて読み継がれている。
- お話の構成（起承転結）がはっきりしていて、主人公やテーマに親しみが持てる。
- 絵を見ていだけでお話がわかる。
- お話と絵が調和している。
- リズミカルな言葉で書かれており、声に出して読んだときに心地よく感じる。
- 昔話は、正しく再話されている。

◆集団へ読み聞かせする時の絵本選びのコツ

絵本選びの基本に加えて大勢への読み聞かせに配慮したいポイントを紹介しします。

- 絵が色彩や輪郭線等によりはっきり描かれており、後ろの席の子どもにも見える。
- 絵と文のバランスがとれている。
- 絵本は、子どもたちの様子で変えられるよう数冊準備する。



◆集団への読み聞かせの準備と実践

絵本が決まったら、しっかりと下準備をし、ゆったりとした気持ちで読みましょう。

- 事前に読む練習をします。
- 本に開きぐせをつけておきます。
- お話を始める前に表紙を見せ、全員に絵本が見えるか確かめます。
- 絵本は中央（背表紙の一番下）を片手で支えて、ページをめくります。めくる時には、手で画面（絵）を隠さないよう気をつけます。
- 主役は絵本と聞き手です。普通の声で、一番後ろまで聞こえるように読みます。
- 良い絵本程、作者が言葉を選び抜いて文章が書かれています。勝手に文章を変えたり、余計な言葉を加えないようにします。
- 絵本の最初と最後のページに何も絵がないことがありますが、そのページもしっかりとこどもに見せてあげます。お話の入口と出口での余韻として大切です。
- お話が終わったら絵本を閉じ、裏表紙を見せます。表紙から絵が続いている場合は開いて見せると良いでしょう。
- 読み聞かせをした後に、感想等は聞かないようにしましょう。
- 子どもの集中力は時と場合により違います。数冊の絵本を続けて読む時に集中が切れてしまったと感じたら、無理をせず気分転換させるゆとりを持ちましょう。
- 大型絵本が多数出版されていますが、基本的には普通の絵本を選び、大型絵本に頼り過ぎないようにしましょう。
- 読み聞かせの記録を残しておくと、後で参考になります。